

平成19年度 第2回御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会

日時 : 平成19年10月25日(木)午後1時30分～午後3時30分

場所 : 林業会館第2研修室

出席委員 : 福島正昭・勝亦祐貴・志水香苗・渡邊恵子・芹澤敏弘・本多 淳・
渡辺好美・近藤八重子・沓間 捷・菅沼健晃・芹沢知輝・芹沢節巳・
山崎和夫・沓間信幸・杉山賢吾

事務局 : 鈴木課長・内田参事・勝又主幹

1 会長あいさつ

市民交流センターが来年度にオープンする。市民活動室も設置されるので、その運営について協議会としても議論をしていきたい。

交流センターは、福祉が中心の拠点となるが、ボランティアは長年の活動の実績がある。これらの先輩団体の指導を受けながら活用していきたい。

行政提案事業として募集をした「市民活動見本市・2007元気わくわくごてんばフェスタ」が10月28日に開催される。33の市民活動団体の参加がある。今後、市民活動見本市として定着していくのではないかな。



会長あいさつ

2 協議事項(進行:会長)

市民交流センター「市民活動室」の運営について

事務局から資料により市民活動室の業務内容について説明

説明要旨

- ・平成20年度オープン予定の市民交流センター内に(仮称)市民活動室が設置される。ここを市民活動支援の拠点として活用するため、市民活動のコーディネーターを配置する。
- ・業務の内容については、市民活動へ参加したい市民への窓口機能、情報提供、研修や人材育成、市民活動団体のネットワーク拠点としての運営を目指す。
- ・あわせて福祉ボランティアのコーディネーターが午前中を中心に配置され、福祉系ボランティアの活動支援を行う予定。

質疑応答

委員A : 休館日について、祝祭日は利用を希望する団体があるのではないかな。団塊の世代の活用などで、祝祭日も利用できるようにしたほうがよい。

事務局：この施設の全体の管理は、指定管理を予定しており、センター設置条例上の休館日が祝祭日になる。指定管理者の事業提案により開館日が増えると思われる。

委員B：人員は、ローテーションを組んで運用するのか。

事務局：委託を予定しているが、補助職については、ローテーションもあるかもしれない。施設の開館時間は9：00～21：30だが、この時間の中でコーディネーターを何時間か配置したいと考えている。

委員C：県の活動センターは、東部・中部・西部に各1箇所ある。各市のセンターを見てから検討したい。この業務内容（案）は、他のセンターの資料を参考にしたものか。

事務局：県の活動センターの東部パレットに相談をしながら作成している。視察を予定しているので、協議会委員も他市の状況を見て参考にしてもらいたい。

委員A：他市の事例では、各地区に地区センターがあるところがある。（仮称）市民活動室が、市内各支所から各地区の活動を吸い上げることで自治会の活性化にもつながるのではないか。各支所からの働きかけで、市内へ広めてもらいたい。

委員C：幸い自治会の担当も地域振興課で、市民活動室と窓口は同じである。自治会など既存団体の充実についてもここが拠点となっていくのではないか。

委員B：市民協働型まちづくり推進指針を策定する議論の中で、各支所にパイプ役になる人を置く案があった。これについてももっと進めてほしい。

委員C：市内には各区にコミセンがある。生涯学習活動が盛んで、さまざまなイベントを実施しているがマンネリ化している。自治会の活性化をしていく必要がある。

委員D：予算についてはどれくらいか。

事務局：市民交流センターの総事業費は約22億円。

委員D：この施設は、誰でも利用できるのか。公益法人の利用についてはどうか。

事務局：市民活動室のほかは、子育て支援部門・高齢者部門・デイサービス・居宅介護支援事業所が入っている。平成15年度の基本構想策定から市民のみなさまの意見を聞きながら、設計・施工となっている。



誰でも利用できる施設だが、市民活動室のロッカーなどは各団体で登録のうえ利用することになる見込み。

委員C：市内の活動団体は、まだまだ活動基盤が脆弱であるので、その育成支援を進めていくことが基本的な方針である。次回は運営方針を配布してもらいたい。

委員B：市民活動室の運営については、市民協働推進プランの19ページを中心に考えていくことでよいか。

事務局：市民協働型まちづくり推進指針をもとに拠点づくりを考えている。市内の自治会は組織力がある。また、NPO法人は14法人あるが、活動の基盤は必ずしも安定しているとはいえないので、行政と協働していくには相手方が弱く少ない。市民活動を活発にすることで、市民協働型まちづくりを進めていきたい。そのために、市民活動室に市民活動のコーディネーターを配置し、情報提供・活動相談などを行っていききたい。

県内各市の市民活動センターの視察を計画したので、他市の状況を視察のうえ、イメージをもってほしい。

委員E：市民交流センターは、みんなが楽しく集えるような施設になってほしい。

委員C：見学できる状況になれば、市民交流センターの現場を見学したい。

他市市民活動センター等の視察について

・他市市民活動センター視察について

事務局：県内の3市の市民活動センターの視察を計画したので、都合のつく日に参加していただき、今後の検討の参考にしてほしい。また、それぞれ市民活動や協働事業への補助金制度を行っているので、御殿場市の御殿場市民協働型まちづくり事業補助金を比較していただき、来年度の募集・審査の参考にしてもらいたい。

・11月19日(月)富士市

・11月26日(月)静岡市

・11月29日(木)袋井市

委員B：視察時にどのような点を聞いてきたらよいか。

事務局：後日資料を参加者に送付する。参加できる日を事務局まで連絡してほしい。

・さわやかタウンミーティングについて

県の県民生活局長が、県民の声を聞く「さわやかタウンミーティング」が御殿場市で開催される。テーマが「NPO支援のあり方について」で、市内及び裾野市・小山町のNPO法人の意見を聞くとのことである。NPO意見交換を予定していたが、内容が類似するので、会長・副会長に出席をお願いしたい。

市民活動見本市「2007元気わくわくごてんばフェスタ」について

事務局：協議会から出役していただく委員は、本部係として来場者の対応にあたってもらいたい。本日の本部係の資料を配布してあるので、事前に目を通しておいていただきたい。また、さまざまな市民活動団体が出展しているので、会場を視察し、今後の参考にしていきたい。

その他

委員F：市民協働の指針やプランは一般の市民の方には説明しづらい。委員が地域に帰って市民協働のPRができる説明資料が必要。

事務局：現在、A3二つ折りのパンフレットの（案）を作成している。次回の協議会には、提示できるので委員のご意見を伺いたい。

委員C：神山有志の会の取り組みは非常にいい事例である。進捗状況はどうか。

委員G：今年度の作業は、1～2月ごろに遊歩道の整備を計画している。協議会の委員も現地を見てもらいたい。

委員C：市民協働型まちづくり事業の御殿場地域読み聞かせボランティアの会の「モンゴル民話と馬頭琴の世界に親しむ！」が12月2日に実施される。委員にも参加をお願いしたい。

事務局：では、これにて閉会する。